

資金繰りを理解し、金融機関と上手に付き合う 安心な経営のための資金繰り・経営改善入門講座

[中小企業大学校九州校開催]

九州校

財務管理

研修のねらい

企業の事業継続のためには、資金の流れを理解することが重要であり、資金の流れが止まってしまうと会社の存続に大きな影響を及ぼすこととなります。また、事業を営んでいれば、いつ何時、業績悪化に見舞われるかわかりません。

本研修では、事業を存続させるため、キャッシュを重視した経営に不可欠である「キャッシュフロー計算書」と「資金繰り表」の作り方、活用方法について学びます。さらに、実際の経営が悪化した場合、どのように再建を果たせばよいのか?ということ、ケーススタディを用いながら、具体的な改善方法をグループで討議し、金融機関の支援を受けるための「経営改善計画書」の作り方も学びます。

研修のポイント

- ☑ 「利益」と「資金」の関係性を知り、資金繰り予測ができるようになります。
- ☑ 経営が悪化した際に、金融機関と折衝するポイントを学びます。
- ☑ 経営改善計画書のアクションプランを検討します。

研修期間

2026年
6/11(木)～6/12(金)

対象者

経営者、経営幹部、経理財務の責任者

- ・ 自社の資金繰り状況を把握したい方
- ・ 自社の資金繰り改善のヒントを知りたい方
- ・ 金融機関との交渉に自信を持ちたい方

定員 24名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 九州校

福岡県福岡市博多区網場町2番1号

月日	時間	科目	内容
6/11 木	9:20-9:30	オリエンテーション	
	9:30-12:30	財務諸表の見方・読み方	経営の根幹であるキャッシュに対する理解を深めるための、2つの財務諸表を学びます。
	13:30-17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利益と資金の違い ・ キャッシュフロー計算書の読み方・活用方法 ・ 資金繰り表の読み方・活用方法 ・ 資金繰りに関連する財務指標と分析手法 ・ 財務状況から適正な借入規模の把握
6/12 金	9:30-11:00	経営改善計画書作成に必要な知識の習得	金融機関から支援を受けるために必要な「経営改善計画書」の作成ポイントを学びます。
	11:00-17:30	グループワーク	経営状況が悪化した場合、どのような対応策が必要なのか、ケース教材を用いながら、グループ討議を行います。
	17:30-17:40	終講式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例を用いて、経営改善計画のアクションプラン（改善に向けた具体策）を検討 ・ グループワーク発表 ・ 講師講評

*カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

*お昼休みは12:30～13:30を予定しておりますが、予告もなく変更する可能性があります。ご了承ください。

講師紹介(敬称略)



財務リスク研究所株式会社
代表取締役

横山 悟一 (よこやま ごいち)

会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を「財務リスク研究所」に変更。約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくだけでなく、独自に開発した「財務与信格付けシステム」により、決算書の格付け、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに7,000社を超えている。著書に『3分間で決算書が読める!』(H&I)、『売上をあげる手段としての決算書の使い方』(総合法令出版)、『小さな会社のCFO』(日経BP社)、『新リーダーへ!「これが会社の数字の読み方です」』(実務教育出版)ほか多数。

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

中小企業大学校 九州校

お申し込み方法、お問い合わせ先等は裏面をご覧ください。
Webからもご覧いただけます。

中小企業大学校 九州校

検索